



自転車クラブの練習(昭和58年)



おじいさん、おばあさんから昔の話を聞きました(祖父母交流会、平成11年)



竜森地区の大きな産業であった林業を支えた森林軌道。ときには人を運んだことも(昭和30年代)



校舎の前で(鳥越校舎、昭和30年代)



平成20年には全県13連覇、全国大会でも団体11位、個人4位の成績を上げるまでに



へき地複式教育公開研究会で堂々と発表(平成5年)



秋田県植林コンクール5年連続優勝を果たして。後列中央は小畑県知事。左は当時の伊藤信一校長、右が大高良昌前校長(昭和38年)



保護者による明治100年記念パレード(昭和40年)



保存会の指導で伝統を継承している竜森地区の郷土芸能「上舟木駒踊り」。男女児童が合戦での騎馬のようすを激しい動きで表現します(平成20年)



全国植樹祭に児童6人が参加。天皇皇后両陛下お手植えでの介添えという大役を果たしました(平成20年)

竜ヶ森を心の友として

学校、そして地域の人たちの思い出の写真をご紹介します

竜森小学校が閉校するにあたり、記念誌が発行されました。掲載写真の中からいくつかを選び、在りし日の姿を振り返ってみました



昭和50年8月に発生した小猿部川流域の水害では学校の周辺も被害を受け、地域総出で後片付け



周りを山に囲まれた竜森小学校。みんなよく海にも行きました。臨海学校ではスイカ割りで大はしゃぎ(昭和62年)



3・4年生の教室で。全学年が複式学級でしたが、鷹巣南小学校では1学年1クラスで学びます(平成20年)



浅利氏ゆかりの「明利又の殿様」を寸劇で発表。地域学習の成果を学習発表会で披露しました(平成20年)